

紀の川水系河川整備計画(平成24年12月策定)

近畿地方整備局では、今後、概ね30年間における紀の川水系の河川整備内容を取りまとめた「紀の川水系河川整備計画」を平成24年12月5日に策定しました。

紀の川の治水対策は、戦後最大洪水(昭和34年9月伊勢湾台風)を対象として、洪水を安全に流す取り組みを推進します。

本計画における治水対策のうち、河道整備については、現状の流下能力、上下流バランス、人口や資産状況、土地利用状況などを勘案し、段階的な治水効果の発現を図りながら堤防整備、河道掘削、狭窄部対策などを実施します。



▲河道整備の整備箇所

岩出狭窄部対策 ストック効果

岩出狭窄部対策の完了により、
・丸栖地区の浸水被害が軽減
・京奈和自動車道整備による大阪圏へのアクセス向上との相乗効果

企業立地が促進され、地域経済の発展につながります。



一級河川紀の川

岩出狭窄部対策

緊急対策特定区間

いわできょうさくぶ 岩出狭窄部は川幅が狭く、きしがわ 貴志川の合流により土砂が堆積しやすく、紀の川で治水上のネックとなっています。

そこで、緊急対策特定区間※に設定し、平成28年度から概ね5年で、岩出狭窄部の対策を実施します。

※緊急対策特定区間とは、改修効果が極めて高い区間について、重点投資を行うことにより、早期に事業効果を発揮させることを目的として設定されるものです。



過去の被害状況

紀の川では浸水被害がたびたび発生しており、昭和28年7月の洪水では岩出橋が流失し、昭和34年の伊勢湾台風では井阪橋付近で紀の川から溢れた氾濫流による浸水被害が発生しています。近年では内水による浸水被害も発生しています。



昭和28年7月前線(岩出橋)



昭和34年9月 伊勢湾台風(井阪橋付近)

お問い合わせ先

国土交通省 近畿地方整備局

和歌山河川国道事務所 <https://www.kkr.mlit.go.jp/wakayama/>

調査第一課、工務第一課

〒640-8227 和歌山市西汀丁16番 TEL:073-424-2471

船戸出張所

〒649-6262 和歌山市上三毛1122-2 TEL:073-477-1325

紀の川の緊急治水対策として狭窄部対策を推進します

実施方針

紀の川水系河川整備計画の目標である戦後最大洪水(昭和34年9月伊勢湾台風)における被害軽減のため、平成28年度から概ね5年間で、岩出頭首工(堰)付近に拡幅水路の整備を行うとともに、堰上流部の河道掘削を実施します。これにより、岩出市、紀の川市等の浸水被害の軽減を図るとともに、地域の経済活動の発展を支援します。

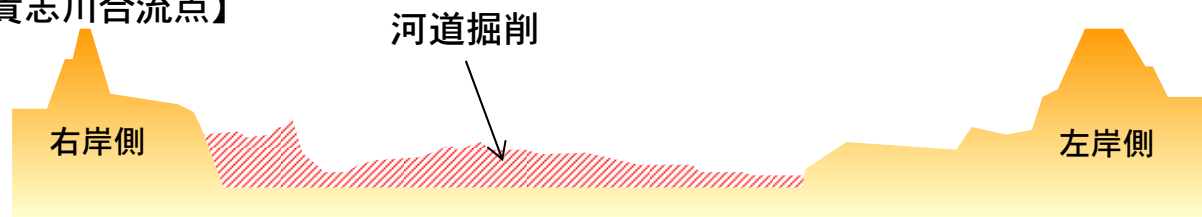
実施内容

- ・ 拡幅水路整備
 - 長さ : 約120m
 - 幅 : 約20m
 - 高さ : 約4~5m
- ・ 河道掘削
 - 掘削量 : 約70万m³

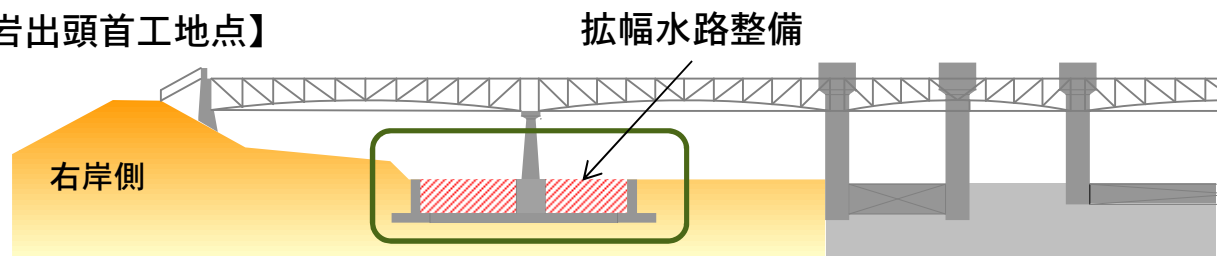
実施イメージ図

岩出頭首工及び上流部の河道断面を拡幅することで、洪水時の水位を低下させます。

【貴志川合流点】



【岩出頭首工地点】



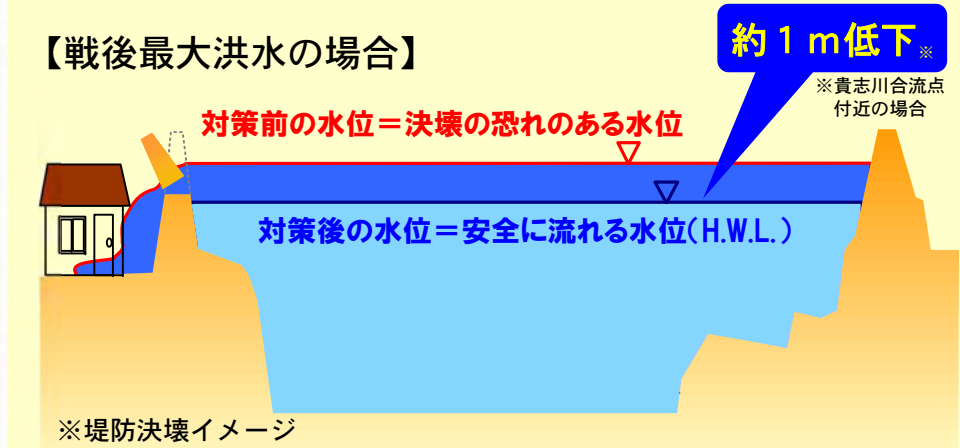
【拡幅水路詳細図】



事業効果(外水)

紀の川の水位が高い状態で堤防が決壊すると、甚大な被害が発生します。岩出狭窄部対策の実施により、紀の川の水位が下がり、堤防の決壊を回避することができます。

【戦後最大洪水の場合】



事業効果(内水)

岩出狭窄部対策の実施により、紀の川の水位が下がるため、堤防の内側(住宅側)からの水の排水が早くなり、浸水被害の軽減につながります。



岩出狭窄部対策の完成後

岩出狭窄部対策の早期完成を図るとともに、完成後はより上流側の河道整備を推進します。